



2020年6月30日

各位

会社名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
 代表者氏名 代表取締役 社長執行役員 梶 賢一郎
 (コード番号: 7774 JQ)
 本店所在地 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1
 問合せ先 執行役員経営管理本部長 大林 正人
 電話番号 0533-66-2020 (代表)

支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりになりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2020年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
富士フィルム株式会社	親会社	50.14	—	50.14	—
富士フィルムホールディングス株式会社	親会社	—	50.14	50.14	東京証券取引所

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称	理由
富士フィルム株式会社	富士フィルム株式会社は、当社の筆頭株主であり、当社議決権の50.14%を直接所有する当社の親会社です。従って、当社に対して一番の影響力を持つのは富士フィルム株式会社であります。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本関係

富士フィルム株式会社（以下、「富士フィルム」という。）は、当社の議決権の50.14%を所有する親会社であり、3名が当社取締役役に就任し、当社取締役1名が富士フィルムの役職を兼務しております。また、当社の研究開発、営業及び経営管理部門の強化を目的として親会社の企業グループから7名を出向者として受け入れております。

富士フィルムは、富士フィルムホールディングス株式会社の100%子会社でありますので、富士フィルムホールディングス株式会社も当社の親会社に該当いたします。富士フィルムは、富士フィルムグループ内の保有資産の最適化の一環として、同社の100%子会社である富士フィルム富山化学株式会社が保有していた当社株式(4.08%)を2019年11月に取得いたしました。これに伴い、富士フィルムが当社株式の50.13%を直接保有することとなりました。更に、富士フィルムと当社は、両社が現在及び将来保有する製品・技術を活用した

再生医療分野での業務提携を行っており、当社は富士フィルムからの受託開発を行っております。

(役員・監査役の兼務状況)

(2020年6月30日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
取締役	畠 賢一郎	富士フィルム株式会社 R&D 統括本部 バイオサイエンス&エンジニアリング研究所 主幹研究員	当社における経験・実績を、富士フィルムグループの事業運営や研究に反映していただくため
取締役	秋 山 雅 孝	富士フィルム株式会社 再生医療事業部長	富士フィルムにおける経験・実績を、当社の経営に反映していただくため
取締役	八 尋 孝 弘	富士フィルムホールディングス株式会社 経営企画部 統括マネージャー 兼 富士フィルム株式会社 経営企画本部 経営企画部長 兼 株式会社富士フィルムヘルスケアラボラトリー 取締役	富士フィルムにおける経験・実績を、当社の経営に反映していただくため
取締役	長 谷 川 知 行	富士フィルム株式会社 再生医療事業部 統括マネージャー 兼 医薬品事業部 マネージャー	富士フィルムにおける経験・実績を、当社の経営に反映していただくため

(注) 当社の取締役7名、監査役3名のうち、親会社等との兼任役員は当該4名です。

(出向者の受入れ状況)

(2020年3月31日現在)

部署名	人数	出向元の親会社等 又はそのグループ企業名	出向者受入れ理由
研究開発部	1名	富士フィルム株式会社	研究開発部門強化のため 当社から依頼
臨床開発部	3名	富士フィルム富山化学株式会社	臨床開発部門強化のため 当社から依頼
営業部	1名	富士フィルム株式会社	営業部門強化のため当社 から依頼
経営企画部	1名	富士フィルム株式会社	経営企画部門強化のため 当社から依頼
総務人事部	1名	富士フィルム富山化学株式会社	総務人事部門強化のため 当社から依頼

(注) 2020年3月末現在の当社の従業員数は186名です。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

富士フィルムは、「ヘルスケア事業」を重要な事業の一つとして位置付けており、医療用デジタルX線画像診断システム、内視鏡システム、高機能性材料などを中心に実績と知見を有しております。2008年には当社株主の富山化学工業株式会社（現 富士フィルム富山化学株式会社）をグループ会社化し、医薬品事業分野に進出するとともに積極的に設備投資並びに研究開発を進めております。

当社は、富士フィルムによる資本参画のみならず、研究開発及び事業展開においても強

固な連携体制を構築することにより、両社の間において事業シナジーを発揮し、当社が企業理念として掲げる「再生医療の産業化」に向けて着実に前進していくことを目的として、富士フィルムと「資本提携契約書」及び「業務提携に関する契約書」を締結しております。更に、これまで行ってまいりました業務提携を発展させ、富士フィルムの再生医療製品の研究開発業務委託契約を締結しております。

なお、当社は富士フィルムグループの一員として、富士フィルムと緊密な協力関係を保ちながら事業展開する方針であります。富士フィルムとの間には役割の棲分けがなされております。また、取締役の就任状況は、グループとして一体性のある経営を行うために親会社と十分に意思疎通を図る必要がありますが、当社の適切な経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

4. 支配株主等との取引に関する事項(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	富士フィルム株式会社	東京都港区	40,000	イメージングソリューション、ヘルスケア&マテリアルズソリューションの開発、製造、販売、サービス	(被所有)直接50.14	当社への開発委託業務提携役員の兼任	受託開発収入(注)2(1)	375,865	売掛金	125,977
							出向者給与の受取(注)2(2)	33,806	立替金	2,140
									未収入金	3,522
被出向者給与の支払(注)2(2)	26,385	未払金	2,634							

(注) 1 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 市場価格を勘案し相互協議に基づき決定しております。
- (2) 出向元法人の給与相当額に基づき決定しております。

5. 支配株主との取引を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、富士フィルム株式会社及びグループ企業との取引等を行う際は、少数株主の利益を害することのないよう、法令や社内規定に基づき当該取引の必要性や一般的な取引条件と同等であることを確認した上で、合理的に判断しています。

当社は、自らの企業理念・ビジョンに基づき、上場会社として自律性・主体性のある経営を行っています。一方で、富士フィルムグループの子会社として、グループシナジーを最大限に生かすことで、当社株主全体の利益を最大化するよう努めています。

以上